

一緒にやろうよ

R6・5・27（月）佐藤菜摘

本日2回目の積木遊び。実は朝遊んだ時、トラブルばかりで、仲良く遊べなかった子ども達でした。どうすれば仲良く遊ぶことができるかを保育士が仲立ちとなって一緒に考えながら、遊んだ1回目でした。また積木で遊ぼうと、友達を誘い合って始まった積木遊び。今度は仲良く遊べるでしょうか？

私ここにこの積木置いてみるね。

」



みんな見てー！私の背より高くなったよ！すごいね。

先生！みんななかよく遊べてるよ！



友達がけんかするたび、仲を取り持ち、解決策を考えてくれた、いろはちゃん。最初は、数人ずつ2つに分かれて遊んでいましたが、積木を全部混ぜ合せて、みんなで協力して遊び始めました。保育士が仲に入らなくても、自分達で、仲良く遊ぶためにどうしたらいいか考えながら遊びを進める姿に感心させられました。みんな仲良く遊べてるねと、いろはちゃんと喜び合いました。

バラバラ～

きゃー！倒れる～！



「せっかく私が作ったのに！」などと、怒る子は一人もいません。少し前までは、お互いが誰かのせいにして、けんかになったり、険悪なムードになったりしていました。壊れたらまた作ればいじゃん！またやろうよ！と、切り替えも上手になってきたきりん組の子ども達です。みんなでわくわくしながら作ったことで、満足感や達成感を味わえたようでした。この後、また、みんなで仲良く積木タワーづくりに挑戦していましたよ。